観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年　７月１５日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･(地域ＤＭＯ)	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人　白山市観光連盟	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 石川県白山市	
所在地	石川県白山市	
設立時期	平成２５年１月２９日	
事業年度	４月１日から翌年３月 31 日までの１年間	
職員数	５人　【常勤５人（職員４人・出向等１人)】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 村山　圓八 （出身組織名） （株）圓八	平成 7 年より、旧自治体である松任観光物産協会の理事、副会長、会長を歴任。自身は、創業２７０年のお菓子の老舗㈱「圓八」の経営者として、松任名物「あんころ餅」の販路開拓に取り組んだ。平成 25 年から白山市一体の民間主体組織となる（一社）白山市観光連盟の理事長として関係団体との調整、本市の観光振興、地域の発展に寄与している。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー	（氏名） 瀧下　泉　事務局長 「専従」	白山市からの派遣職員で、市民サービス課長補佐などを歴任し、各種施策のデータ管理に精通する。現在事務局長として観光・物産のプロモーションに関わっており、地域マーケティング、データ分析、収集に豊富な知識経験と高い分析能力を持つ。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	（氏名） 喜多　悟史　専務理事 「専従」	白山市の建設部長、都市計画課長など管理職を歴任し、施策としての各種事業に精通する。これまで専務理事として観光・物産のプロモーションに関わっており、財務、経営・組織マネジメントに豊富な知識経験と高い能力を持つ。
プロモーションの責任者（専門人材）	（氏名） 軽部　英俊　理事 （出身組織名） （株）六星	白山市観光連盟の副理事長として各種イベントの実施に携わる。自身は㈱六星の経営者として自社の農産品の販路拡大に取り組んでいる。観光地としての魅力の掘り起こしとそのプロモーションを推進している。商工会議所副会頭
旅行商品の造成･販売の責任者（専門人材）	（氏名） 舟津　能子　事務局員 「専従」	国内旅行業務取扱管理者であり、白山市の着地型商品の造成及び販売に関わり、白山市の食、歴史、文化の旅行商品をまとめ上げる高い能力を有する。

様式１

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	白山市観光文化スポーツ部　観光課（観光施策全般） 都市交流多文化共生課（海外誘客） ジオパーク・エコパーク推進課（観光誘客、ガイド） 施設管理課（観光施設整備） 文化課（文化プログラム） スポーツ課（スポーツツーリズム） 総務部　危機管理課（災害時の観光客の避難対策） 企画振興部　まちづくり推進室（空き家対策） 交通政策課（地域公共交通） デジタル課（公共Ｗｉ－Ｆｉ整備） シティプロモーション推進課（シティプロモーション） 市民生活部　地域安全課（観光客の安全対策） 環境課（グリーン、エコツーリズム） 産業部　農業振興課（特産品開発支援） 地産地消課（特産品開発支援、プロモーション） 森林対策課（特産品開発支援） 水産振興課（特産品開発支援） 商工課（特産品開発支援、販路開拓） 農業振興課（道の駅特産品販売、観光案内） 建設部　土木課（道路環境整備） 公園緑地課（公園施設整備） 都市計画課（都市計画、景観形成） 石川県文化観光スポーツ部観光戦略課（観光施策全般、国内誘客） 国際観光課（海外誘客）
連携する事業者名及び役割	白山手取川ジオパーク推進協議会（観光誘客、ガイド育成） 白山商工会議所（商業環境改善、物産開発） 美川商工会（商業環境改善、物産開発） 鶴来商工会（商業環境改善、物産開発） 白山商工会（商業環境改善、物産開発） 鳥越観光協会（着地型旅行商品開発、物産開発） 吉野谷観光協会（着地型旅行商品開発、物産開発） 白山一里野温泉観光協会（着地型旅行商品開発、物産開発） 白峰観光協会（着地型旅行商品開発、物産開発） 白山市文化協会（文化施設の管理、文化芸術プログラム） （一財）白山市地域振興公社（文化施設の管理、物産開発） 北陸鉄道㈱（２次交通の充実） 加賀白山バス㈱（２次交通の充実） 西日本旅客鉄道㈱（関西圏誘客、１次交通の充実） 東日本旅客鉄道㈱（関東圏誘客、１次交通の充実） ㈱ＪＴＢ中部（着地型旅行商品） ㈱ホワイトリング（着地型旅行商品） 松任市農業協同組合（物産開発） 白山農業協同組合（物産開発） 白山手取川漁業協同組合（物産開発） 白山白峰漁業協同組合（物産開発） （公社）石川県観光連盟（広域観光） （一社）中央日本総合観光機構（広域観光）

様式１

官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	（該当する要件）①② （概要） ①　幅広い分野の関係団体の代表者等１９名が理事、監事として理事会に参画し、意思決定を行っている。 　理事会には、白山市観光文化スポーツ部長が理事として加わるとともに、白山市観光課長がオブザーバーとして参画し、白山市役所との連携を緊密なものとしている。 ②　白山市観光連盟には、ウィズコロナ時代での安心・安全な観光みらい計画の策定とその計画による事業点検と改善を行う旅行商品プランニング部会、ご当地銘品の商品企画・開発により地域産品ブランドの確立や特産品販売等の事業を行うご当地銘品開発部会及び観光ガイドの養成や各ガイド団体の調整を行う観光ガイド事業部会の３つの専門部会が設置されており、各部会には、それぞれの部会の関係団体や関係する市役所の担当課の職員やコンサルタントなども参画している。
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	地域住民を対象とした観光ガイド養成講座を年１３回実施するとともに住民参加型のワークショップを年１回、また地域住民への啓発を目的としたシンポジウム、講演会を年２回開催している。 地域住民のおもてなし力の向上と地域が持つ価値や魅力を地域全体で共有し、観光誘客促進を図るため「白山検定」を毎年実施している。
法人のこれまでの活動実績	（活動の概要） 平成２５年１月の設立後、観光業・宿泊業・食品加工業・交通事業者・飲食店・菓子店、経済団体などが加盟し、現在２８８社・団体が会員として参画している。 活動としては、白山市の多彩な地域資源を活用した観光誘客を図るため、白山市観光連盟が中心となって、観光資源の情報を収集し、誘客に向けた効果的な情報を発信する機能（プラットホーム機能）により、観光地の活性化を図っている。また、組織と情報を集約・一元化し、無駄なく合理的に力強く情報を発信し、観光事業を推進できる体制づくりに努め、白山市並びに会員と連携しながら、連盟の目的である白山市の観光の振興と積極的な事業展開を図ってきた。 ⑴ 白山開山１３００年記念事業 白山開山１３００年を契機として全国へ情報発信を行うことにより、白山の認知度が向上し、結果として白山ブランドの確立が図られることから、数多くの記念イベントの開催やポスター、プロモーションビデオの制作などを行った。 ① 「灯りでつなぐ１３００年」３万個のＬＥＤ設置 ② 白山シンポジウム、白山の恵みフェアの実施 ③ タスキでつなぐ白山登山、山頂に水を戻す「お水返し」の実施 ④ 白山検定の実施 ⑵ 効果的な情報発信 ① 白山市ゆかりの地、東京「文京区白山」において、当地で開催される文京まつりや東京大新宿祭りなどに参加し、白山市の観光・物産を PR し、首都圏からの誘客を実施

② 石川県や広域観光機関と連携し、首都圏はもとより関西、中京圏、東北圏へ旅行ルートの提案・売込みのキャンペーンの実施
③ 観光連携している金沢市、野々市市や岐阜県白川村と共同で造成した旅行商品の販売促進及び共同プロモーションを実施
④ ふるさと納税お礼品販売事業の実施（平成 27 年度から平成 29 年度）

⑶ 受け地での魅力づくり
① 受け地での魅力アップのため、第三種旅行業の登録を行い、新たな着地型観光商品の開発・販売を推進
② 観光客へより質の高いサービスを提供するため、観光ガイドの派遣を行う観光ガイド事業及び観光事業を担うガイドの人材スキルアップ事業を行い、受け地での魅力づくりを図っている。
③ 感得の旅パンフ、白山市ドライブマップ、白山市お宿ガイドなどの発行
④ レンタサイクル事業の実施（２８台保有）
⑤ 連盟会員と市長及び議会議員との意見交換会、セミナー等の開催
⑥ 観光関係団体との連携・支援、各種観光事業の後援

⑷ ゆたかな食文化や自然・歴史を活かしたおもてなし
① 白山の恵みである本市の特産品は、非常に質が高く魅力的なものが多いが、いまだ一般的に知名度が低いことから、白山市産物の認知度向上を図るため、白山市の特産品をＰＲする「うらら白山人秋祭」などを開催し、観光地としての魅力向上と誘客のための施策を展開
② 全国に認知されてきた「発酵のまち白山市」をさらに推進し、白山市の発酵食品をブランド化するため、「海から山まで白山発酵街道」ブランド認定事業を行い、商品の統一パッケージ支援事業等を推進
③ ふるさと白山市の旬の味と香りをお届けする「めぐみの白山ふるさと便」の販売

（定量的な評価）
【会員数推移】団体数
令和元年度：302 名　令和２年度：294 名　令和３年度：294 名
令和４年度：295 名　令和５年度：294 名　令和６年度：288 名

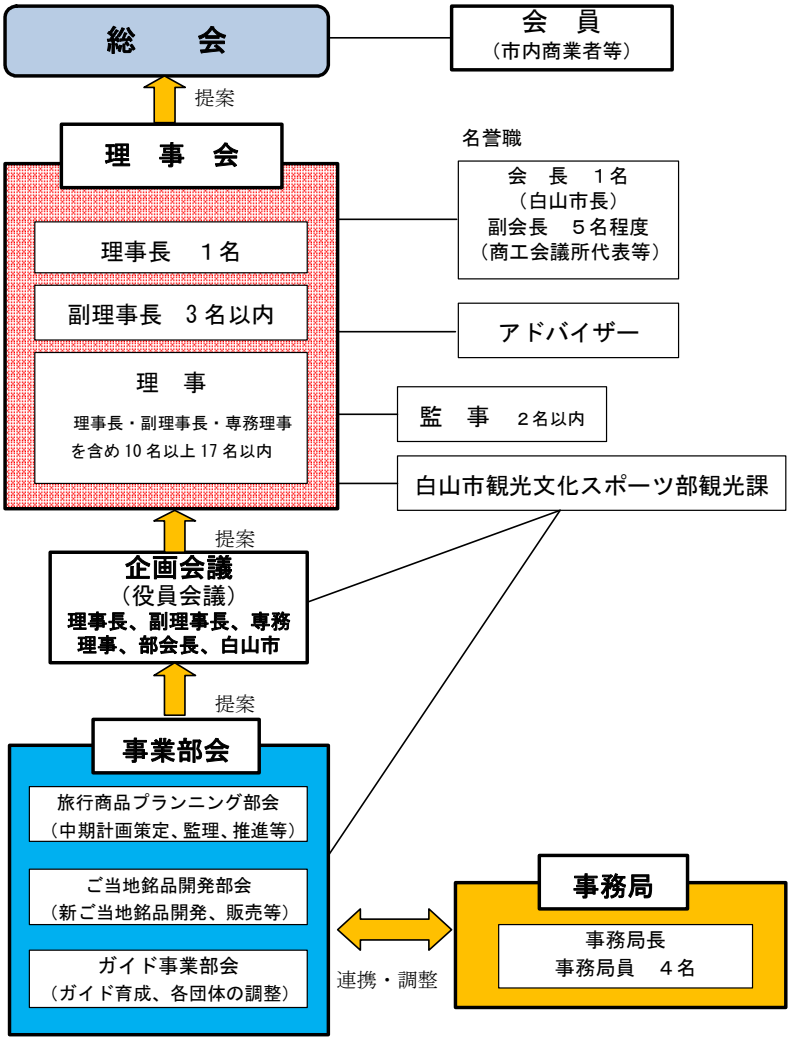
【事業収入推移】
令和元年度：　8,096,374 円　　令和２年度：　5,195,059 円
令和３年度：　7,918,116 円　　令和４年度：　7,701,145 円
令和５年度：　11,892,053 円　　令和６年度：　14,746,395 円

【着地型観光ツアー客数】
令和元年度：4,251 人、令和２年度：1,576 人、令和３年度：1,715 人
令和４年度：2,286 人、令和５年度：3,574 人、令和６年度：2,600 人

【レンタサイクル利用状況】
令和元年度：2,673 台、令和２年度：1,911 台、令和３年度：1,762 台
令和４年度：2,520 台、令和５年度：2,849 台、令和６年度：2,124 台

【めぐみの白山ふるさと便事業】
令和元年度：112 件、令和２年度：125 件、令和３年度：116 件、
令和４年度：102 件、令和５年度：106 件、令和６年度：　89 件

様式１

	【ふるさと納税お礼品販売事業】 平成 27 年度：63 件、平成 28 年度：1,838 件、平成 29 年度： 455 件
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	（実施体制の概要） ３つの専門部会を定期的に開催し、それぞれが連携を取りつつ、事業執行に向けた調整を図っている。また、理事会が白山市観光連盟全体の方向性を定め、組織の円滑な運営に当たっている。 （実施体制図） 一般社団法人白山市観光連盟　組織図  意思決定 総　　会：理事会から提案された決算の承認、事業計画・収支計画の承認、役員の選任・解任、役員の報酬、定款の変更、合併・解散を決定する。 理 事 会：企画会議から提案された業務執行の決定、理事の職務執行の監督、代表理事の選定や解職等を決定する。 企画会議：事業部会から提案された事業を企画立案し、実施する。各事業の実施状況の確認と相互の調整を図る。

様式１

（一般社団法人　白山市観光連盟役員名簿）

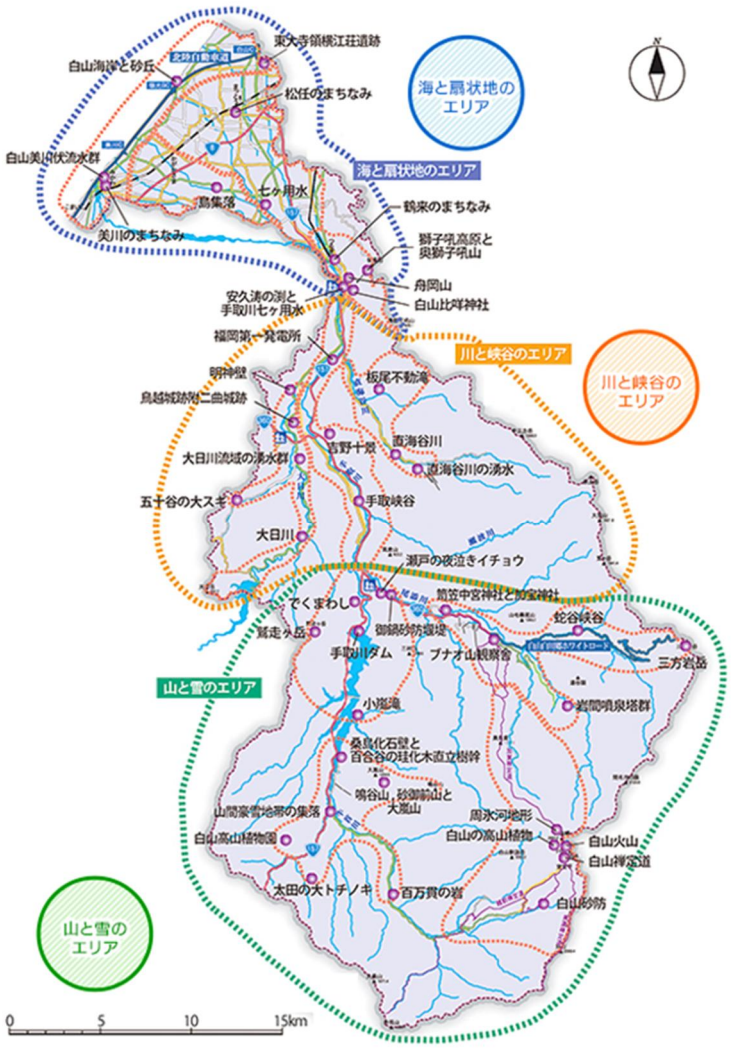
一般社団法人　白山市観光連盟　役員

役　職	氏　　名	出　身　元
会　長	田村　敏和	白山市長
副会長	髙松　喜与志	白山商工会議所会頭
〃	長基　健司	鶴来商工会長
〃	北村　達也	美川商工会長
〃	山本　外勝	白山商工会長
〃	村山　和臣	(財)白山観光協会評議員会長
理事長	村山　圓八	㈱圓八代表取締役会長
副理事長	西山　博之	西山産業開発㈱代表取締役社長
〃	荒木　敏明	㈱あら与代表取締役
〃	軽部　英俊	㈱六星代表取締役社長
専務理事	喜多　悟史	（専従）
〃	磯部　雄三	加賀白山ようござった事務局長
〃	織田　　毅	(有)志んさ本舗代表取締役
〃	車多　一成	㈱車多酒造代表取締役
〃	瀬川　亮太	瀬川屋プランニング合同会社代表
〃	竹内　孝徳	美川刺繍工芸㈱代表取締役
〃	田中　天善	白山比咩神社禰宜
〃	長　　壮一	(有)長助代表取締役
〃	西山　喜治	㈱西山旅館代表取締役
〃	町　　享治	㈱町八家具代表取締役社長
〃	宮竹　宏幸	(有)美川タンパク代表取締役社長
〃	山﨑太一朗	一里野高原ホテルろあん代表取締役社長
〃	山田　昌宏	白山市観光文化スポーツ部長
監　事	永井　隆一	(一財)白山観光協会専務理事
監　事	吉田　隆一	㈱吉田酒造店取締役会長
アドバイザー	車　　幸弘	県議会議員・クルマスポーツ代表

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

白山市は平成１７年２月に１市２町５村が合併し発足した自治体で、白山山頂から手取川河口、日本海沿岸まで市域に含んでいる。その広大な市域は多種多様な観光資源に恵まれており、白山市観光連盟としては、それぞれの観光資源を有機的に結び付けることで、白山市そのものの観光地としての魅力向上を図るため、白山市全域を区域設定することが適切と考える。

具体的には、白山市観光連盟が中心となり、市内の観光資源について利用状況やニーズを調査・整理し、効果的に情報を発信するプラットホーム機能の充実を図り、着地型旅行商品の開発・販売を行うとともに観光客の誘客や市内の特産品を利用した観光地の活性化を図る。

なお、各地域の特性に見合った効率的な観光地経営のため、市域を地理的要件によりカテゴライズした３つのエリアに分けてとらえている。このエリア分けは、白山手取川ユネスコジオパークのエリアと同様である。

様式１

■「山と雪のエリア」
　白山市の象徴ともいえる霊峰白山の頂とその麓に開けた白峰・尾口地域を始め、また白山白川郷ホワイトロードなど山岳地帯ならではの景観や日本有数の豪雪地帯とそこに息づく文化を体感できる。
　白山の風土と伝統文化を意識したスローツーリズムで、個人滞在型の誘客やワーケーションの活用を目指す。

■「川と渓谷のエリア」
　幾つもの川が合流し、手取川として大きな流れとなるエリア。絶景「手取峡谷」や河岸段丘など、手取川により形作られた地形が発達し、その景観や川と生活との関わりを体感できる。
・ユネスコ世界ジオパークやユネスコエコパークの認定を全面に押し出し、ファミリー層を中心としたアクティビティープログラムで誘客を図る。

■「海と扇状地のエリア」
　手取川により形成された平野部から日本海にかけてのエリアで、人口も集中している。地域外からのアクセス性も高く、北前船交易のなごりが残る美川地域やスカイスポーツの聖地と言われる獅子吼高原、白山信仰の拠点である白山比咩神社など、主要観光スポットが点在する。また、北陸新幹線白山総合車両所、隣接するトレインパーク白山や伝統産業、先端産業などの企業が多く、「ものづくりの心」に触れ、学び、体験できる。
・交通手段が良く、情報発信力のある観光地や「ものづくり産業」となる企業が多いため、金沢からの観光客をターゲットに大手旅行代理店への PR や着地型旅行商品の造成により、より多くの誘客を目指す。

【観光客の実態等】

入込客数（人）		令和４年	令和５年	令和６年
		3,684,496	3,861,927	4,347,807
内訳	観光施設	1,328,011	1,322,726	1,782,364
	日帰り温泉	233,999	246,343	263,013
	スキー場	139,855	125,313	89,502
	キャンプ場	29,207	15,824	15,415
	宿泊施設	126,327	166,374	172,923
	公園	351,148	344,404	326,868
	文化・歴史	1,138,847	1,219,511	1,294,870
	イベント	175,210	200,186	213,520
	スポーツなど	55,850	31,845	30,751
	自然	106,042	189,401	158,581

様式１

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

〇白山市の観光資源の概要

本市には日本三名山の一つである白山をはじめ、スキー場や温泉、白山比咩神社などの神社仏閣、白峰重要伝統的建造物群保存地区といった観光拠点のほか、白山菊酒や食の世界遺産と呼ばれる「ふぐの卵巣の糠漬」をはじめとした発酵食品、祭りなどの地域の伝統・文化等、多くの観光資源が存在している。

たとえば、伝統・文化では、美川のおかえり祭り、鶴来のほうらい祭り、鳥越の一向一揆まつり、東二口文弥まつり、白峰の雪だるままつりなど、地域の伝統的な祭りや個性豊かなイベントがあり、毎年多くの来訪者で賑わいを見せている。

また、江戸時代の女流俳人加賀の千代女をはじめ、七ヶ用水の父枝権兵衛、近代精神文化界に大きな影響を与えた暁烏敏、大正文学の奇才島田清次郎、日本刀制作の人間国宝隅谷正峯など数多くの文化偉人を輩出したほか、日本地質学発祥の地桑島化石壁発見者であるライン博士や日本洋画壇の巨匠中川一政などの文化人と深いつながりがある。

また、長く北陸の鉄道車両整備を担った金沢総合車両所松任本所があったことや、金沢と白山市鶴来を結ぶ北陸鉄道石川線の鶴来車両工場と北陸新幹線の白山総合車両所があることから、「鉄道のまち」として PR をしています。

〇主な観光資源

山と雪のエリア

種別	観光資源
自然・公園	白山、高山植物、桑島化石壁、白峰百万貫の岩、大嵐山、太田の大トチ、ミズバショウ、市ノ瀬野営場、南竜ヶ馬場野営場、中宮温泉野営場、白山瀬女高原コテージ村、白山白川郷ホワイトロード、姥ヶ滝、ふくべの大滝、三方岩岳、岩間噴泉塔群、夜泣きイチョウ、一里野高原など
歴史・文化	白峰重要伝統的建造物群保存地区のまちなみ、白山下山仏、かんこ踊り、白山ろく民俗資料館、白山工房、白山恐竜パーク白峰、白山砂防科学館、市ノ瀬ビジターセンター、中宮ビジターセンター、文弥人形浄瑠璃でくまわしなど
スポーツ施設	白山一里野温泉スキー場、白山白峰アルペン競技場など
商業施設	道の駅「瀬女」、白峰特産品販売施設「菜さい」、ハーブの里「ミントレイノ」など
温泉	白峰温泉、白山温泉、一里野温泉、岩間温泉、中宮温泉、新中宮温泉
イベント	白山まつり、わかばまつり、雪だるままつり、東二口文弥まつりなど
特産品	牛首紬、なめこ、わさび、とちみつ、とちもち、堅豆腐、山菜、ジビエ料理、報恩講料理、白山百膳など

川と渓谷のエリア

種別	観光資源
自然・公園	手取峡谷、御仏供杉、綿ヶ滝、弘法池、五十谷の大杉、夫婦岩、宿の岩、白山ろくテーマパーク吉岡園地など
歴史・文化	鳥越城跡附二曲城跡、一向一揆歴史館、農村文化伝承館、吉野工芸の里など
スポーツ施設	白山千丈温泉セイモアスキー場、手取キャニオンロードなど
商業施設	道の駅「一向一揆の里」、にわか工房、河内地場産業センターなど
温泉	白山里温泉、手取温泉、千丈温泉、めおと岩温泉など
イベント	雪おくりまつり、鳥越一向一揆まつり、新そばまつり、河内ふじまつりなど
特産品	そば、くるみ味噌、なめこ、ジビエ料理など

海と扇状地のエリア

種別	観光資源
自然・公園	獅子吼高原、樹木公園、小舞子海岸、美川伏流水群、手取公園、オニユリ群生地、はまなす群生地など
歴史・文化	白山比咩神社、金劔宮、一閑寺、石川県ふれあい昆虫館、獅子ワールド館、横町うらら館、石川ルーツ交流館、呉竹文庫、博物館、松任中川一政記念美術館、千代女の里俳句館、松任ふるさと館、聖興寺、多川家、東大寺領横江荘遺跡荘家跡など
スポーツ施設	スカイ獅子吼（パラグライダー）、小舞子海水浴場、松任総合運動公園、松任海浜公園など
商業施設	道の駅「めぐみ白山」、道の駅「しらやまさん」、くろゆりの里、おはぎ屋、白山市立高速鉄道ビジターセンター（トレインパーク白山）など
温泉	美川温泉、松任海浜温泉など
イベント	ほうらいまつり、一六大市グルメフェスタ、鶴来の夏まつり、深瀬でくまわし、どんじゃら市、おかえりまつり、美川里海ききとまつり、横江の虫送り、白山国際太鼓エクスタジア、マルシェ・ド・白山、千代女あさがおまつり、鉄道まつり、サマーフェスティバル HAKUSAN、GEORIDE HAKUSAN、あさがおマラソンなど
特産品	加賀獅子頭、どぶろく、白山菊酒、美川仏壇、美川刺しゅう、ふぐの子糠漬・粕漬、和太鼓、檜細工、あんころ、かきもち、剣崎なんばなど

様式１

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

	旅館		ホテル		民宿		その他		合計	
	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員
山と雪のエリア	11	344	5	0350	9	252	1	104	26	1,050
川と渓谷のエリア	4	132	1	4	0	0	0	0	5	136
海と扇状地のエリア	9	347	6	631	7	104	2	160	24	1,242
合計	24	1,888	12	985	16	356	3	264	55	2,428

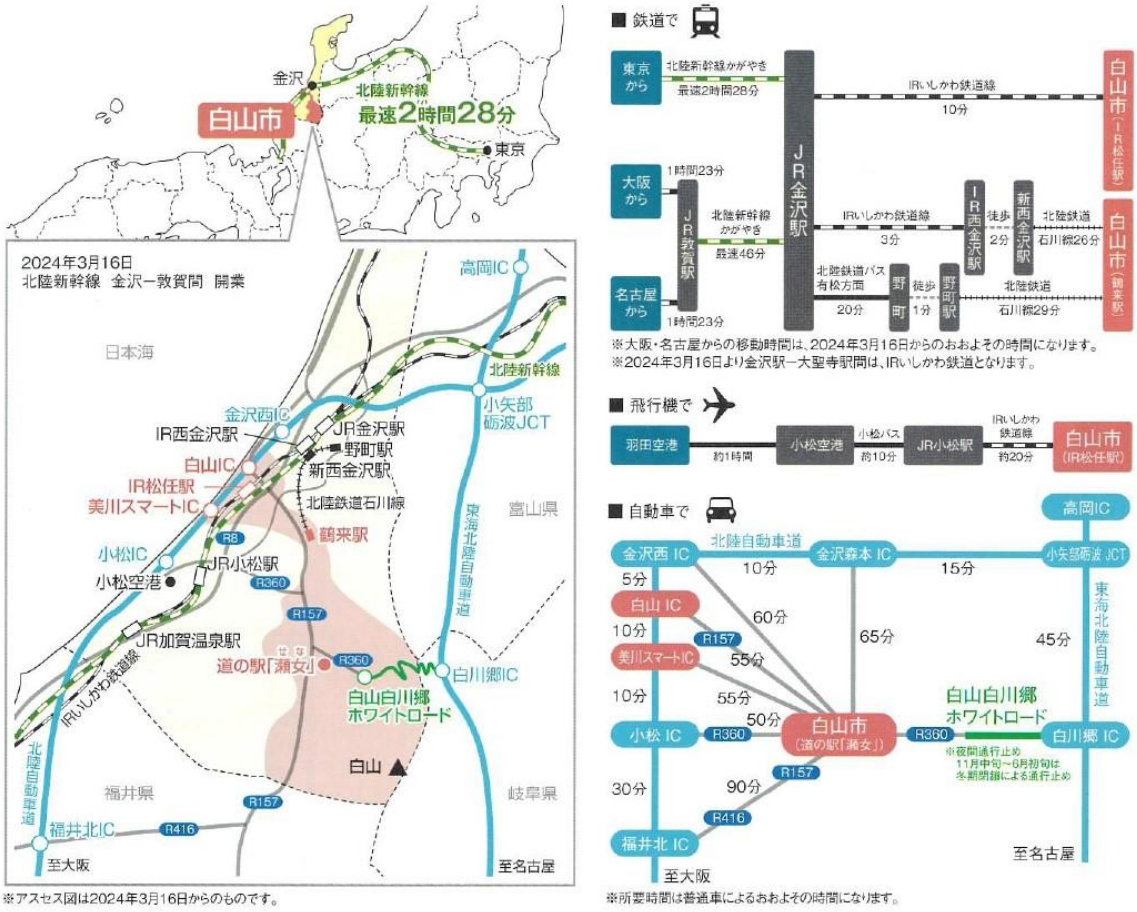
様式１

【利便性：区域までの交通、域内交通】

白山市は市内にＩＲの駅として「松任駅」、「西松任駅」、「加賀笠間駅」、「美川駅」、「小舞子駅」を有している。中でも、白山市の玄関口となる「松任駅」は、「金沢駅」から 10 分程度に位置しており、首都圏からのアクセスも良好といえる。さらに、本市の観光の核ともいえる「白山比咩神社」のある鶴来地域へは北陸鉄道により金沢市の野町駅からアクセスも可能である。また、小松空港から３０分程度で空路でのアクセスの利便性も高い。自動車でのアクセスに関しては北陸自動車道のインターチェンジとして「白山ＩＣ」、「美川ＩＣ」、「徳光ＩＣ（ＥＴＣ専用）」を有しており、高速交通網は非常に充実している。

域内での交通に関しては「ＩＲ松任駅」からの路線バスのほか、北陸鉄道鶴来駅から白山麓地域への路線バスが運行されている。

主要都市から白山市までのアクセス



※アクセス図は2024年3月16日からのものです。

※所要時間は普通車によるおおよその時間になります。

【外国人観光客への対応】

・外国人用観光パンフレット、チラシの作成
・多言語対応のウェブサイト整備
・無料Ｗｉ Ｆｉスポットの整備促進
・観光連盟窓口に英語対応できる職員の配置やＡＩ通訳機の設置

様式１

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者による経済波及効果の分析	旅行者向けの調査 （石川県実施）
延べ宿泊者数	宿泊者による経済波及効果の分析	観光施設への調査 （石川県実施）
来訪者満足度	来訪者による評価の把握、旅行商品造成、ブランド化への指針	旅行者向けの独自調査
リピーター率	来訪者による評価の把握、旅行商品造成、ブランド化への指針	旅行者向けの独自調査
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため	Google アナリティクスを活用して実施
観光入込客数調査	来訪者による経済波及効果の分析	観光施設への調査 （石川県実施）
着地型ツアー参加者数	来訪者による経済波及効果の分析	ツアー参加者の申込により調査

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

白山市は、平成１７年２月に１市２町５村が広域合併して誕生した自治体で、県内最大の面積（754.93 ㎢）を誇っている。県都金沢市に隣接し、日本三名山の一つ白山から日本海まで、そしてそれをつなぐ一級河川手取川流域に広がる扇状地を含む広大な市域は豊富な自然と美しい景観に恵まれており、かつ、地域ごとに独特の伝統文化や生活様式が色濃く残されている。

合併後 20 年経過したが、広大な市域に点在する観光資源について、未だ地域間の連携が取れておらず、多くの魅力的な資源があるにも関わらず相乗的な効果を発揮するに至っていない。そのため、本市への観光人口が思うように増加せず、観光産業の伸展が阻害されている。特に観光産業が主要な地位を占めてきた白山ろく地域においては、観光産業が振るわないことにより人口の流出が加速し、そのことが地域の活力の低下を招き、地域の活力の低下が、さらなる産業の衰退を招くという負の連鎖に陥っている。市域に占める割合が大きく魅力的な観光資源が点在している白山ろく地域の衰退は、本市全体の観光産業に大きな影を落としている。

また令和２年からのコロナ感染症拡大による観光客入り込み客数の減少や令和６年１月の能登半島地震の影響を受け、入り込みや宿泊が、伸び悩んでいる。

本市全体の観光産業振興のためには、観光産業の不振からくる負の連鎖を断ち切り、産業の隆盛とそれによる人口減少に歯止めをかけ、白山ろく地域の活力を取り戻すとともに、それに連動する形で本市全体の観光産業振興につなげるため、白山市観光連盟が、より効果的な観光地経営に取り組み、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口の増加を目指している。

様式１

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ・広大な市域を誇り、日本海沿岸から白山山頂まで様々な景観に恵まれている。 ・市全域が白山手取川ジオパーク（日本ジオパーク）で、ユネスコ世界ジオパークに認定 ・北陸新幹線白山総合車両所に隣接するトレインパーク白山にドクターイエロー展示 ・白山信仰の拠点白山比咩神社が鎮座 ・重要伝統的建造物群保存地区（白峰） ・白山ろくスキー場（２カ所） ・海から山まで様々な食材に恵まれている。（ふぐの子糠漬け、白山菊酒、ジビエ料理など） ・美川のふぐの子糠漬が文化庁の１００年フードに認定 ・市内に温泉が点在 ・豊富な水資源 ・広大な山林 ・県都金沢に隣接して近い。 ・地震や台風災害が少ない。 ・金沢、白川郷との観光協定による連携事業	弱み（Weaknesses） ・大規模な宿泊施設が少ない。 ・外国人受け入れ態勢の遅れ。 ・観光施設の老朽化 ・産業観光を受け入れできる施設が少ない。 ・二次交通手段が整備されていない。 ・白山、ひいては白山市の全国的な知名度の低さ ・多くの観光資源が白山麓地域に偏在 ・白山市を代表する特産品がない。
外部環境	機会（Opportunity） ・北陸新幹線金沢開業による首都圏からのアクセス性向上 ・北陸新幹線敦賀延伸 ・白山開山１３００年 ・着地型旅行の需要増大 ・白山白川郷ホワイトロードの料金値下げ ・ジビエブーム ・発酵食ブーム ・石川県への外国人宿泊者数が過去最多	脅威（Threat） ・降雪量の減少、スキー人口の減少により冬季の誘客が困難 ・観光資源が多くある白山麓地域の人口減少 ・北陸新幹線敦賀延伸による金沢への入込の減少 ・能登半島地震や豪雨による観光客入込客数の減少

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層
　首都圏、北関東など北陸新幹線沿線地域

〇選定の理由
　北陸新幹線の平成２７年３月の金沢開業により、首都圏や北関東、信越地域から北陸へのアクセス性が格段に上昇しており、当連盟のレンタサイクルの貸出状況も首都圏からの利用者が最も多く、５割前後を占めている。本市は金沢市に隣接していることから、本市への観光客数増加に直接つながるターゲット層といえる。
〇取組方針
・首都圏の白山ゆかりの地でのキャンペーン展開
・石川県や環白山広域観光推進協議会、越前加賀広域観光推進協議会などと連携した出向宣伝の実施や情報発信
・金沢市と連携しての旅行商品開発

〇第２ターゲット層
　北陸、中京圏、関西圏

〇選定の理由
　本市の位置する加賀地方は、元来、福井県や富山県からの来訪者が多いほか、中京圏や関西圏との結びつきが強く交流が盛んであるが、北陸自動車道、東海北陸自動車道といった高速道路網により、関西圏、中京圏との結びつきは一層強固なものとなっている。このことは、レンタサイクルの利用者の約３割がこの圏域からの来訪者であることからも明らかであり、令和６年３月の北陸新幹線敦賀開業により、鉄路での関西圏、中京圏からのアクセス性も格段に向上し、多くの誘客を見込むことができる。
〇取組方針
・石川県や環白山広域観光推進協議会、越前加賀広域観光推進協議会などと連携した出向宣伝の実施や情報発信
・金沢市との観光連携協定、白川村との観光都市交流協定に基づく連携事業の推進

〇第３ターゲット層
　東アジア圏（台湾、中国、韓国など）

〇選定の理由
　平成元年～令和６年に本市を訪れた外国人（約１万人）のうち約７割が台湾、中国、韓国など東アジア圏からの観光客であった。本市から近くにある小松空港では上海、ソウル、台北と結ばれており、今後もそれぞれからの訪日客を見込むことができる。

〇取組方針
・観光パンフレットやサインの多言語化推進
・スキー場やホワイトロードの絶景、白峰重伝建地区など他との差別化を図れる観光資源について磨きをかけるとともに情報発信に努める。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	白山の郷（ふるさと）から始まる「感得の旅」 人が旅先で実際に体験する（感じる）ことで、日常では得られない大きなものを得るという視点に立つことを基本理念とする。
②コンセプトの考え方	「感得」という言葉には、「奥深い道理や真理などを感じ悟る」という意味や「思いがけなく手に入れる」という意味があるが、白山市の特有の自然、歴史、文化遺産、ものづくり産業に触れることで、「体験して得ることができる」ものが数多くあることから、これら地域の資源を活かしたプログラムを提供していくことで、多くの人々に魅力的な地域として認知されることを目指していく。 本市は、八つの自治体の合併により、白山国立公園をはじめとする多様な自然、風土、文化、生活様式に恵まれており、これを「感得」というキーワードのもと、そうした多様な個性を繋いでいくことで、多くの人のニーズに応えていくこととする。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	白山市観光連盟を中心として、地域の関連事業者（市内商工団体、各観光協会、ガイド団体、旅行会社、交通事業者等）を集めてコミュニーションの場を設け、情報の共有と意思の疎通を図るとともに、課題解決や新たな資源の掘り起こし、着地型旅行商品の開発等に取り組んでいる。 さらに、白山市ならではの物産として発酵食をクローズアップし、多種多様な発酵食を統一ブランドとして商品化していく。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上･評価する仕組みや体制の構築	外部の講師を招いての勉強会の開催や、先進地域の取り組み事例を調査することで、白山市の観光産業全体のボトムアップを図って行く。また、来訪者へのアンケート調査の実施とそのデータ共有により観光客のニーズに対応した観光地づくりを図る。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	白山市観光連盟としてはすでに、ＨＰやＳＮＳでの情報発信を展開しているが、今後、観光情報センターとして情報の集約と発信の一元化を徹底して行い、ワンストップ窓口をさらに充実することで、効果的なプロモーションを展開する。 また、今後、民間的なマーケティング手法を導入し、近年のトレンド、観光客のニーズ、本市の持つ観光資源のポテンシャルに応じた旅行商品を造成しＰＲしていく。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	44,184	55,713	60,000	60,000	60,000	60,000
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	44,184	55,713	※１	―	―	―
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
●延べ宿泊者数（千人）	目標	127	166	180	190	190	190
		(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
	実績	127	166	173	―	―	―
		(1)	(2)	(2)	( )	( )	( )
●来訪者満足度（%）	目標	90	89	90	90	90	90
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	90	89	86	―	―	―
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
●リピーター率（%）	目標	50	71	70	72	72	72
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	50	71	72	―	―	―
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※１　石川県統計書が秋頃公表のため未記入

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
行政との連携による一体的な観光まちづくりを推進するため、平成 29 年 3 月白山市が策定した「第２次白山市総合計画」（計画期間：2017 年度～2026 年度）に合わせ、H27 年を基準年次、Ｒ８年（Ｒ９）を目標年次とし、平成 27 年 3 月の北陸新幹線金沢開業の実績推移を基に目標値を設定する。
ただし、令和２年以降新型コロナ感染拡大に伴う観光客の減少を目標数値に反映する。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
・Ｒ５年の実績を基準値とし、１割増の 600 億円を設定
●延べ宿泊者数
・Ｒ６年の実績を基準値とし、１割増の 19 万人に設定
●来訪者満足度
・Ｒ４年の実績を基準値とし、ほぼ横ばいを目指して設定
●リピーター率
・Ｒ６年の実績を基準値とし、ほぼ横ばいを目指して設定

様式１

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●観光入込客数（千人）	目標	3,688	3,862	3,900	4,400	4,400	4,400
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	3,688	3,862	4,348	―	―	―
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
●着地型ツアー参加者数（人）	目標	2,286	3,574	4,300	4,300	4,300	4,300
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	2,286	3,574	2,600	―	―	―
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
●観光連盟ＨＰアクセス数（件）	目標	417,553	425,080	450,000	450,000	450,000	450,000
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	417,553	425,080	417,410	―	―	―
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

行政との連携による一体的な観光まちづくりを推進するため、平成２９年３月白山市が策定した「第２次白山市総合計画」（計画期間：2017 年度～2026 年度）に合わせ、H27 年を基準年次、Ｒ８年（Ｒ９）を目標年次とし、平成 27 年 3 月の北陸新幹線金沢開業の実績推移を基に目標値を設定する。

ただし、令和２年度以降新型コロナ感染拡大に伴う観光客の減少を目標数値に反映する。

【設定にあたっての考え方】

●観光入込客数

・令和２年度以降新型コロナ感染拡大により大きく減少しているが、令和６年度はトレインパーク白山の開業による入込客数が増加した。今後もＲ６を基準としてほぼ横ばいに設定

●着地型ツアー参加者数

・令和６年度は能登半島地震等の影響によりツアー参加者が大きく減少している。そのためＲ５を基準として２割増の 4,300 人を目指して設定

●観光連盟ＨＰアクセス数

・Ｒ３のＨＰリニューアルを機にアクセス数は大きく増加し、これまでと同じ 45 万件を設定

●住民満足度

・アンケート調査を独自で行うことは、財政的に厳しいが、白山市の住民アンケートなどと連携できないか検討している。

様式１

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内　　訳	
2022（Ｒ４）年度	69,283,381 円	【市からの補助金】	43,959,815 円
		【市委託料】	4,757,224 円
		【会費収入】	1,070,000 円
		【収益事業収入】	7,701,145 円
		【その他収入】	11,795,197 円
		（内訳）	
		他団体補助金収入	2,233,260 円
		他市委託金収入	1,300,000 円
		雑収入	390,102 円
		繰越金	7,871,835 円
2023（Ｒ５）年度	67,832,969 円	【市からの補助金】	42,385,593 円
		【市委託料】	1,246,000 円
		【会費収入】	1,066,000 円
		【収益事業収入】	10,826,053 円
		【その他収入】	12,309,323 円
		（内訳）	
		他団体補助金収入	2,050,000 円
		他市委託金収入	1,300,000 円
		雑収入	81,014 円
		繰越金	8,878,309 円
2024（Ｒ６）年度	81,215,994 円	【国からの補助金】	5,000,000 円
		【市からの補助金】	46,614,000 円
		【市委託料】	1,290,000 円
		【会費収入】	1,046,000 円
		【収益事業収入】	13,700,395 円
		【その他収入】	13,565,599 円
		（内訳）	
		他団体補助金収入	2,050,000 円
		他市委託金収入	1,300,000 円
		雑収入	17,997 円
		繰越金	10,197,602 円
2025（Ｒ７）年度	65,216,000 円	【市からの補助金】	47,151,000 円
		【市委託料】	318,000 円
		【会費収入】	1,058,000 円
		【収益事業収入】	13,338,000 円
		【その他収入】	3,352,000 円
		（内訳）	
		他団体補助金収入	2,050,000 円
		他市委託金収入	1,300,000 円
		雑収入	1,000 円

2026（Ｒ８） 年度	66,000,000 円	【市からの補助金】 【市委託料】 【会費収入】 【収益事業収入】 【その他収入】 （内訳） 他団体補助金収入 他市委託金収入 雑収入	47,301,000 円 300,000 円 1,078,000 円 13,895,000 円 3,352,000 円 2,050,000 円 1,300,000 円 74,000 円
2027（Ｒ９） 年度	66,000,000 円	【市からの補助金】 【市委託料】 【会費収入】 【収益事業収入】 【その他収入】 （内訳） 他団体補助金収入 他市委託金収入 雑収入	47,301,000 円 300,000 円 1,078,000 円 13,895,000 円 3,352,000 円 2,050,000 円 1,300,000 円 74,000 円

（２）支出

年（年度）	総支出（円）	内　　訳	
2022（Ｒ４） 年度	60,405,072 円	【一般管理費】 【自主事業】 【市からの受託事業】 【その他事業】	26,262,459 円 7,111,336 円 27,031,277 円 0 円
2023（Ｒ５） 年度	57,634,367 円	【一般管理費】 【自主事業】 【市からの受託事業】 【その他事業】	25,846,611 円 10,240,280 円 21,547,476 円 0 円
2024（Ｒ６） 年度	69,279,496 円	【一般管理費】 【自主事業】 【市からの受託事業】 【その他事業】	28,495,438 円 16,384,764 円 24,399,294 円 11,972,498 円
2025（Ｒ７） 年度	65,216,000 円	【一般管理費】 【自主事業】 【市からの受託事業】 【その他事業】	28,358,000 円 13,955,000 円 22,903,000 円 0 円
2026（Ｒ８） 年度	66,000,000 円	【一般管理費】 【自主事業】 【市からの受託事業】 【その他事業】	28,000,000 円 15,000,000 円 23,000,000 円 0 円
2027（Ｒ９） 年度	66,000,000 円	【一般管理費】 【自主事業】 【市からの受託事業】 【その他事業】	28,000,000 円 15,000,000 円 23,000,000 円 0 円

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

・継続的な活動資金を確保するため、まずは白山市との連携を緊密にし、その支援を受けつつ観光地域づくり法人を推進していく。
・また白山市の持つ観光資源を活かした独自の着地型旅行商品や体験プログラムの企画、販売を行うことで、自主財源の拡大を図る。
・白山市立高速鉄道ビジターセンター（トレインパーク白山）の情報・物販コーナーを市から運営委託を受け、販売業者からの家賃収入により財源確保を行っている。
・さらに、会員加入の促進に努めるとともに、会員相互の意思疎通を図る場を定期的に設けることで、組織運営上の強化に努める。
・また毎年利用数が増加しているレンタサイクル事業の拡充により、自主財源の確保を図る。
・さらに将来の自律的･継続的な活動のための安定的な運営資金の確保に向けて、白山市と協議を進めていく。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

白山市は、一般社団法人白山市観光連盟を当該白山市における地域ＤＭＯとして登録したいので一般社団法人白山市観光連盟とともに申請します。

９．マーケティング･マネジメント対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	喜多悟史
担当部署名（役職）	専務理事
郵便番号	920-2192
所在地	石川県白山市鶴来本町四丁目ヌ 85 番地
電話番号（直通）	076-259-5893
FAX 番号	076-259-6893
Ｅ－ｍａｉｌ	hakusan@urara-hakusanbito.com s-kita@urara-hakusanbito.com

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	石川県白山市
担当者氏名	山根知洋
担当部署名（役職）	観光課担当課長
郵便番号	924-8688
所在地	石川県白山市倉光二丁目１番地
電話番号（直通）	076-274-9544
FAX 番号	076-274-9546
Ｅ－ｍａｉｌ	t-yamane@city.hakusan.lg.jp

（登録）【地域DMO】一般社団法人白山市観光連盟

様式２

記入日：　令和7年7月15日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　石川県白山市
【設立時期】　平成25年1月29日
【設立経緯】
　③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】　村山　圓八
【マーケティング責任者（CMO）】　瀧下　泉
【財務責任者（CFO）】　喜多　悟史
【職員数】　5人（常勤5人（臨時職員4人・出向等1人））
【主な収入】
　収益事業　14百万円、委託事業　53百万円（令和6年度決算）
【総支出】
　事業費　41百万円、一般管理費　28百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
　白山市、白山手取川ジオパーク推進協議会、白山商工会議所、美川商工会、鶴来商工会、白山商工会、（一財）白山市地域振興公社、北陸鉄道㈱、西日本旅客鉄道㈱、㈱JTB中部、（公社）石川県観光連盟等

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（億円）	目標	441（－）	567（－）	600（－）	600（－）	600（－）	600（－）
	実績	441（－）	567（－）	—	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	127（1）	166（2）	180（2）	190（2）	190（2）	190（2）
	実績	127（1）	166（2）	173（2）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	90（－）	89（－）	90（－）	90（－）	90（－）	90（－）
	実績	90（－）	89（－）	86（－）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	50（－）	71（－）	70（－）	72（－）	72（－）	72（－）
	実績	50（－）	71（－）	72（－）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
・首都圏、北関東など北陸新幹線沿線地域
・東アジア圏（台湾、中国、韓国など）
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・首都圏の白山ゆかりの地でのキャンペーン展開や石川県や環白山広域観光推進協議会、越前加賀広域観光推進協議会などと連携した首都圏への出向宣伝の実施や情報発信
【観光地域づくりのコンセプト】
　白山の郷（ふるさと）から始まる「感得の旅」旅先で体験する（感じる）ことにより、日常得られないものが得られることを基本理念とする。

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・トレインパーク白山のコンテンツ造成・販売
・発酵食品のブランド認定を実施
・産業観光を含めた隣接市町との広域周辺観光の推進
・第三種旅行業に登録し、ユネスコ世界ジオパーク「白山手取川ジオパーク」を観光ツールとして、着地型旅行商品の造成や「SDGs未来都市」を生かしたスタディツーリズムなどの企画・販売

【受入環境整備】
・白山手取川ジオパーク公認観光ガイドの育成・拡充とスキルアップ事業を実施
・高齢者や障がい者が安心して観光できるユニバーサルツーリズムの推進
【情報発信・プロモーション】
・観光客及び観光市場に対するワンストップ窓口の設置
・HPやSNSに加え、観光情報センターとして情報発信の一元化